



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・拠点でのごみ廃棄ルールを厳格に運営していることに加え、年二回「ごみゼロ運動」に参加、拠点周辺の清掃活動を実施している			3.9			6	7				12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ												12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・全店舗に太陽光発電設備を設置							7.2						13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ												12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記 ・入社研修時に就業規則の説明を実施																16	16.5		
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記 ・入社研修時に就業規則の説明を実施																	16		
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産権の保有なし									8.2	8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に関する方針を定め、各事業所での掲示およびホームページへの記載を実施																	16		
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																		16		
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	2021年9月に「パートナーシップ構築宣言」を実施					5					8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・サービス(整備)メカニックの資格取得を推進する ・ダイレクトラインを活用し、改善要望を積極的に発信する			3.9									12.4							
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・人材育成専任者を設置し、社員研修を通じてサービスの向上を図っている ・社員スキルアップの一環としてホンダ主催の4大技能大会への参加を積極支援している																9			
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・本田技研の地球環境への取組と連動し、ハイブリッド車の販売比率2030年100%、EV・FCVの販売比率2030年20%、2035年80%、2040年100%を目指す						6						12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・安全運転支援システム「Honda Sensing」搭載車両の販売推進により、交通事故ゼロを目指す	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・企業理念に地域職業社会への貢献を明記し、地域活動への参画を人事制度の評価項目としている ・長野県「社員の子育て応援宣言」の登録および子育て支援手当の支給				4					9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・年2回献血を実施 ・年2回店舗周辺清掃を実施 ・長野県ホンダ会と連携し、森林ボランティアを実施				4							11				14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ										8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念・行動指針を毎朝朝礼で斉唱・読み合わせ ・年1回のビジネスミーティングで目標・取組事項を経営層から直接伝えている									8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・企業理念[HondaCarsNaganoChuoBasic]にコンプライアンス最優先を明記																		16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・企業活動が与える影響を洗い出し、当該影響に対応するリスク管理担当者を設置																		16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ホンダ技研提供のCS関連情報データを参考に、店舗表彰制度の対象項目にCS指標を加えている																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・全拠点店舗の地震リスク評価を実施																			16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・企業理念および行動指針である「Honda Cars NaganoChuo」に具体的な行動を明記、人事評価における評価項目とも連動させている																			16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・2018年度よりBCP訓練を実施 ・BCPを2019年に策定、店舗配備を実施										9		11			13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
学生への人財育成支援を通じた地域社会への貢献	・県内高校2校への部活動費用支援 ・専門学校生等のインターン受け入れ ・自動車整備専門学校への推薦入学制度、奨学金返済支援制度を整備				4.4														

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)